

**研究主題**進んで自分の思いを表現し、共感的理解ができる児童の育成

～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～

本校では、自分の考えはもてていても、それを全体の場で話すことに抵抗を感じている児童が多い実態を踏まえ、伝え合い、話し合いの大前提として、安心して話せる環境や他者を尊重する心、また、傾聴する姿勢を育てていくことを研究のテーマとしている。園小中連携による12年間の中で、多面的・多角的な見方・考え方ができる児童、共感的理解のできる児童を育成していく。

**取組1** 多様で効果的な指導方法を取り入れた授業

子どもたちが「考え」「議論する」道徳授業にするために、「問題解決的な学習や体験的な学習」「ノートや話し合いの仕方の工夫」「多様な教材や資料の活用」を意識して授業を行ってきた。

**【地域との連携】**

地域の「見守り隊」の方を招いて学校までの道を見守ってくださる方々と会話した。意欲の向上はさることながら、教科書教材から離れて自分事として考えることができた。

**【ICT機器の活用】**

意欲向上や意識付け、話し合い活動の充実につながるようにICT機器の活用を工夫していく。

**取組2** 異年齢集団による協働的な学び、異学年交流活動の充実

合築校舎の特性を生かし、様々な場面で中学生と交流活動を行っている。

**【委員会活動】**朝の挨拶運動・募金活動・縄跳び週間など

【特別活動】陸上大会に向けた練習に、陸上部生徒のコーチング・音楽部合同演奏



【なのはな学級・J組交流活動】小中合同頒布会・節分交流・合同体育・遠足など



活動を重ねるたびに、児童生徒それぞれに自己有用感を感じ、自発的にかかわる姿が見かけられるようになった。

### 取組3 傾聴し、他者を尊重する心を育てる

#### き 聞くとき

- あ あいて み 相手を見て
- い いせいで いい姿勢で
- う うなずきながら
- え えがお 笑顔で
- お お 終わりまで

明海中学校区（1園3校）共通で話し方・聞き方を一貫して指導していく。安心して話せる環境づくり、豊かな人間関係関係の構築、自己有用感・自尊心を育むことを目的としている。

#### 主な成果と課題（○成果 ●課題）

- ICTやゲストティーチャーの活用は、児童の学習意欲を高めたり、考えを深めたりすることに非常に効果的であった。特に、ゲストティーチャーに直接、自分の考えや質問をすることができるので、
- 異年齢集団での活動を重ねるごとに児童生徒それぞれに自己存在感・自己有用感を感じ、自発的にかかわる姿が多く見かけられるようになった。
- ICTによるトラブルやゲストティーチャーとのやり取りなど、授業計画を立てる上で時間的に難しいところがあった。ゲストティーチャーとの打ち合わせについては、生の声を大切にしつつ、学習のねらいにすり合わせることに課題がみられる。
- 多くの児童が、他者の意見や考えを聞くことに肯定的であり、大切にしているとアンケートでも答えている。しかし、自分の考えの変容までは至らない。改善点として、他者の考えを受け入れ、自己の生き方をより良いものにしていけるように、発問をより練ることが必要であると考ええる。

中学校 J 組（知的、情緒） 小学校なのはな学級（情緒） 道徳学習指導案  
令和 6 年 1 月 2 9 日（金）

1 主題名 「かっこよくはたらく」をめざして

中学校内容項目 C—1 3 勤労、  
小学校内容項目 C—1 3 勤労、公共の精神

（題材：「世界がおどろく 7 分間清掃」 光文書院『ゆたかな心』小学 6 年一部改作）

2 ねらい

○働くことの尊さや意義についての考えにふれ、自分自身が学校生活、家庭生活、さらに将来において「かっこよく」働き、自立し、社会とつながって、よりよく生きようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本授業を通して、自分自身が「かっこよく働く」ために「今の自分に何ができるか」「将来自分にできること」を考え、それを行動に移そうとする意欲を高められるように促したい。特別支援学級の児童生徒にとって、将来自立した生活を送り、社会とつながりながら働くことをめざすことは大切である。そのためには、「働くことはかっこいい」「かっこよく働きたい」という思いを抱くことが、働くことへの意欲につながると考える。

（2）児童生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

両学級の児童生徒は、学校での係活動などを通じて、「集団に奉仕することの充実感」、「公共のために役立つことをすること」について学習している。さらに「かっこよく働く」ことを通して社会貢献することが自らの喜びや充実感につながることに気付かせたい。本授業を通して、自分自身が「かっこよく働く」ために「今の自分に何ができるか」「将来自分にできること」を考え、それを行動に移そうとする意欲を高められるように促したい。

（3）使用する題材の特質やそれを生かす具体的な活用方法

この題材は、新幹線清掃の達人の仕事ぶりを通して、働くことの意義について考え、その実践を促すことができる内容になっている。達人の手早く丁寧な仕事ぶりをよりわかりやすく伝えるために、文章の資料だけでなく、映像を活用する。

さらに、自分の生活と働くことを結びつけるために、お手伝いのことを導入で取り上げ、中学生の取り組みんだ職場体験について発表してもらおう。

また、授業のまとめの段階では、教師が実際に、新幹線清掃の達人からメールでいただいたメッセージを読み上げることで、将来「かっこよく働きたい」という意欲につなげていきたい。

4 展開

過程	時配	学習活動と主たる発問（○）	支援・手立て（○） 評価（●）	資料等
導入	10	○普段の生活を振り返り、自分や友達がどんなお手伝いをしているか確認する。働くことについての問題意識をもつ。 ○お手伝いをした時の気持ちを思い出し、働く人々の気持ちに近づける。	○個々の「お手伝いカード」を準備し、どんなことを家庭で手伝ったのか振り返る。 ○オクリンクプラスを用意し、友達と互いの手伝いの内容を確認しあう。 ○自分自身の日々の生活は、様々な「仕事」に支えられていることに気づく。	・お手伝いカード ・オクリンクプラス

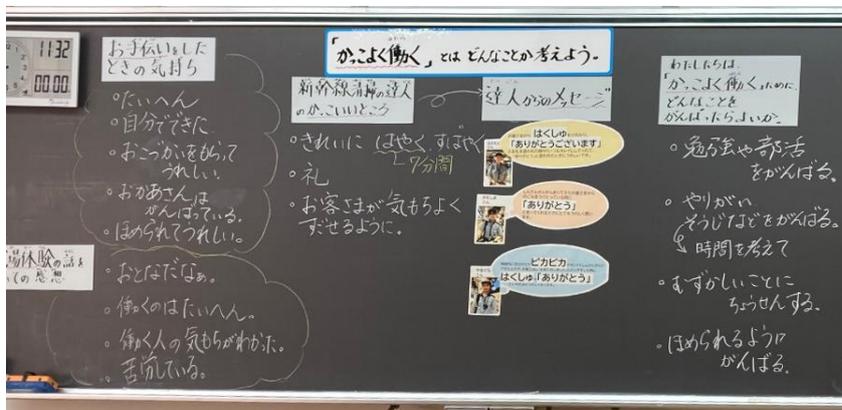
展開	<p>30 ○本時の学習の方向性を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <b>「かっこよく働く」とはどんなことか考えよう。</b> </div> <p>○ 中学生から、9月に行った職場体験の感想を発表してもらい、小学生に感想を聞く。  ○ 資料を読んだり、動画を見たりして、新幹線清掃の達人の「かっこいい」「すばらしい」「すごい」と思ったことをあげる。  ○ 新幹線清掃の達人がうれしいときはどんな時だと思うか考える。</p>	<p>○事前に中学生が原稿を準備する。映像の内容をマグネット付き写真で確認し、ヒントとする。  ○オクリンクプラスを使い、自分の考えを打ち込み、発表させる。  ●達人の仕事ぶりの素晴らしさにくづくることができた。(発表・発言)【態度】  ○全員の意見が見られるように、ホワイトボードに映し出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生職場体験の感想</li> <li>・動画</li> <li>・オクリンクプラス</li> </ul>
終末	<p>10 ○教師から実際に新幹線清掃を行っている人のメッセージを紹介して、「かっこよく働く」ことを目指す気持ちをもたせる。  ○自分たちが「かっこよく働く」ためにできることを考える。</p>	<p>○新幹線清掃の達人からのメッセージを教師が読み上げる。  ○メッセージのキーワードを黒板にマグネットで貼る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> </ul>

(5) 他の教育活動との関連

この題材は、「勤労」がテーマであるため、中学生が行った職場体験について発表し、「かっこよく働く」ことへの動機づけとしている。また、小中学校のキャリア教育と関連づけている。

5 授業の様子

(1) 板書



(2) 生徒（児童）の様子

小学生は、積極的に発言する姿が見られ、中学生は、じっくり考えた意見を発表する姿が見られた。授業後は、係活動や手伝いへの意識が高まり、積極的に取り組む様子が、小中ともに見られた。また、中学校でその後行われた作業所の方々との活動でも意識の高まりが見られた。その後の小中の交流では、以前にも増して互いに積極的にかかわる姿が見られるようになった。

